

京都オーガニックアクション協議会（京都府およびその周辺）

協議会の構成員

京都府およびその周辺の生産者、流通業者、飲食店、学術関係者ら

約 80 軒 うち生産者55軒、実需者約20軒

（369商店、坂ノ途中、アスカ有機農園、ワンドロップ、へんこ、かみむら農園、中川自然農園、音吹畑、梅本自然農園ほか）



生産概要（2018年度）

- 有機農業取組面積：48.6ha（うち有機JAS取得面積：5.3 ha）
- 有機農業者数：34 名
- 栽培品目：万願寺とうがらし、葉物類、米など

成果（2017年度-2018年度）

- ・ 本事業取組生産者数： **13 名** → **34 名**（162%増）
- ・ 新規参入者 **4 名** を確保
- ・ 有機栽培取組面積の増加： **23 ha** → **48.6 ha**（113%増）

取組のポイント（取組期間：2018年度）

- ・ 共同物流便運行と農産物生産販売計画・取引データの共有
- ・ 生産者／実需者の意見交換会および相互訪問
- ・ 地域の生産者・実需者を広く巻き込む作付検討会の開催
- ・ 生産者対象の生産技術・経営技術に関わる研修会実施

京都周辺の比較的小規模の生産者・実需者らが集まり、物流手段のシェアを中心テーマに据えて、生産・販売・物流に関する情報を共有。周年供給体制構築に向けた「作付検討会」を **2 回**開催。

意見交換会、相互見学会、意向調査などを頻繁に実施（**30回以上**）地域内外における新たな取引につなげている。

生産者の生産技術や経営スキル向上を図る勉強会を **5 回**開催



一言アピール！

地域内流通を支えるコミュニティづくり

持続可能な社会を目指す生産者、流通業者らが集まって知恵を出し合いながら、新しい流通の仕組みづくりに取り組んでいます！ 全国各地の皆さんも連携しませんか？

問い合わせ先：
近畿農政局生産部生産技術環境課
075-414-9722

丹波市有機の里づくり推進協議会（兵庫県丹波市）

協議会の構成員

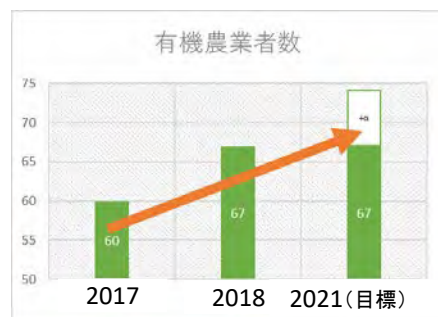
丹波市有機農業研究会、丹波ひかみ農業協同組合、丹波市役所
【アドバイザー】(株)ジャパンバイオフィーム代表 小祝 政明

生産概要（2018年度）

- 取組面積
有機農業取組面積：145.62ha
うち有機JAS取組面積：50.64ha
- 有機農業者数：181名
- 栽培品目：水稻、黒豆、小豆等
- 有機農産物の生産量：457トン
- 構成員の主な取引先：20箇所以上
(例：大手米穀商社 生協 ネット通販)

成果（2017年度→2018年度）

- ・有機農業者数の増加：60戸 → 67戸
- ・有機農業面積の拡大：129.73ha → 145.62ha
- ・有機農産物の販売額：1億3800万円 → 1億4700万円



取組のポイント（取組期間：2018年度）

■付加価値をつけた有機農産物の普及

有機農産物の普及において、「農薬を使っていないから見た目が悪くてもOK」といった概念を地域内で広める為、高品質でかつ高栄養価の有機野菜づくりにつとめて、流通においてお客さまから指名いただけるような栽培を目指す。**定期的に行う栽培勉強会**において**モデル圃場を設け、実地研修・共同勉強会**を開催する事で、産地としての農作物の品質レベルの向上を図っている。

■流通・販売の拡大に向けた取組

高品質で栄養価の高い農作物を求める実需者のニーズを把握するため、2月におこなわれた**アグリフード大阪に出展し、新規顧客獲得**につなげた。



一言アピール！

定期的に皆で圃場を回り、品質向上の為に勉強しています！丹波の栄養価の高い有機農産物是非ご賞味ください



問い合わせ先：
近畿農政局生産部生産技術環境課
075-414-9722

神戸オーガニック・エコ農業推進協議会（兵庫県）

協議会の構成員

■生産者：

＜神戸市＞ げんきゆうき、ココハウス、小池農園こめハウス、炭育ち池上農園、ほんまもんや 渡邊農園

＜三田市＞ 神戸三田ジャンプオーガニック

＜養父市＞ 宝樹園

＜朝来市＞ 株式会社村上ファーム

■実需者：生活協同組合コープ自然派兵庫、株式会社コープ有機

■有機JAS認証団体：一般社団法人オーガニック認証センター

生産概要（2018年度）

■取組面積

有機農業取組面積：24.39ha

うち有機JAS取組面積：8.29ha

■有機農業者数：10名

■構成員の主な取引先：3箇所

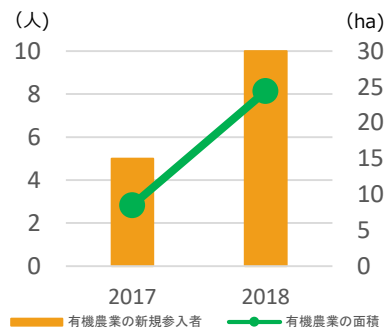
（生協、直売所、レストラン）

■栽培品目： 水稻、人参、ほうれん草、リーフレタス、玉ねぎ、かぼちゃ、ズッキーニ、にんにく、小松菜、水菜、菊菜、パクチー、冬瓜、生ピーナッツ、しそ、コリアンダー、なす、かぶ、オクラ、バジル、ミニトマト、トマト、大豆、レタス、ピーマン、ベビーリーフ、その他園芸作物

成果（2017年度→2018年度）

・有機農業の新規参入者の増加：5名 → 10名

・有機農業面積の拡大：8.48ha → 24.39ha



取組のポイント（取組期間：2018年度）

■有機農業への参入者の増加に向けた取組

BLOF理論学習会への参加を広く兵庫県下に呼び掛けて新たな構成員を獲得。2018年7月、9月、11月、2019年1月 合計4回開催。

■実証圃場まとめ

実証圃場で小松菜、ほうれん草、レタスの3品目をBLOF理論に基づいて栽培を行った。

→すべての実証圃場で反収増加（小松菜137%、ほうれん草115%、レタス122%）

レタスの圃場については、太陽熱養生処理により雑草が抑制され作業軽減につながった。

■消費者との意見交換

2019年1月18日に開催された第4回コープ自然派生産者＆消費者討論会に生産者が多数参加し消費者と意見交換を行った。

■技術指導の実施（BLOF理論学習会：講師 小祝政明氏）

主に以下の点について学習

- ・太陽熱養生処理による土作り
- ・太陽熱養生処理ができない場合の代替方法
- ・秋処理、トロトロ層の形成、水田中微生物の活用
- ・アミノ酸肥料を効率よく吸収させる方法 など

那賀地方有機農業推進協議会（和歌山県岩出市、紀の川市）

協議会の構成員

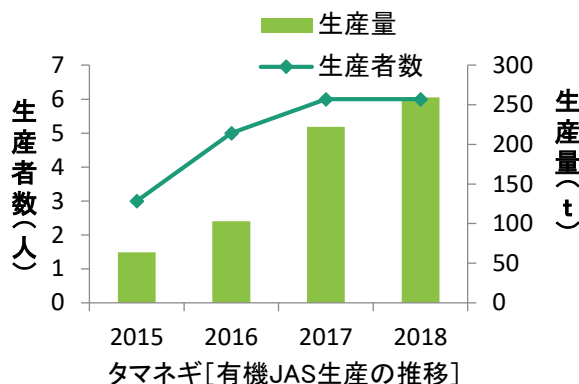
（株）ビオランド紀ノ川、農業生産法人バイオ・ランド、紀州やさい、紀州農レンジャー、紀の川市環境保全型農業グループ、和歌山有機農業認証協会、和歌山県有機農業生産者懇話会、紀ノ川農業協同組合、紀の里農業協同組合、紀の川市、岩出市、和歌山県那賀振興局農業水産振興課

生産概要（2018年度）

- 有機農業取組面積：18.3ha
うち有機JAS取組面積：15.11ha
- 有機農業者数：31名
- 栽培品目：タマネギ、水稻、キウイ等
- 有機農産物(JAS)の生産量：503.2t
- 構成員の主な取引先：10箇所
卸業者が中心

成果（2015年度→2018年度）

- ・ 有機農業実践者(JAS)の増加
26名 → 31名
- ・ 有機農業面積の拡大
13ha → 18.3ha
- ・ 有機農産物(JAS)の生産量
265t → 503.2t



取組のポイント

- 有機農業参入者の増加に向けた取組
 - ・ **新規参入者向け相談窓口の設置**（新規就農や営農に関する相談）や**栽培技術、経営等に関する研修会を開催**することにより、新規参入者及び導入面積の拡大に繋がった。
- 技術確立・習得に向けた取組
 - ・ 新技術の導入に向けた**技術実証圃**を設け、**協議会で情報を共有**することで、病害虫防除対策や生産性の向上が図られ、また、**地域の栽培技術導入事例を収集した有機農業栽培マニュアルの追補版を作成**したことで、導入品目の拡大に繋がった。
- 安定供給体制構築のための取組
 - ・ 地元小学校等での有機農業の出前授業と農作業体験による**食農教育活動**により、有機農業の理解を深める活動を継続的に実施した。
 - ・ **県外実需者への調査訪問**を行い、実需サイドの要望を反映した供給体制づくりに努めた。



研修会の開催



栽培マニュアルとPRパンフ



実需者への訪問

一言アピール！

農業を通じてみんなを元気に、環境と人にやさしい農業に取り組んでいます。



問い合わせ先：
近畿農政局生産部生産技術環境課
075-414-9722

安来農林振興協議会やすぎ有機農業推進プロジェクト

(島根県安来市)

協議会の構成員

- ・赤江オーガニックファーム（生産者）・島根県東部農林振興センター松江普及部安来支所
- ・島根県農業協同組合やすぎ地区本部生産流通課・安来市役所農林振興課

生産概要（2019年3月）

- 取組面積
有機農業取組面積：1.68ha
うち有機JAS取得面積：1.25ha
- 栽培品目：小松菜、水菜、ホウレン草等
- 構成員の主な取引先：7社
- 有機農業者数：4名

成果（2017年→2018年）

- ・協議会参加農家：5名（2017年）→6名（2018年）
- 研修生受入：2名（2017年）→3名（2018年）
- 2018年度中に1名新規研修生受け入れ開始

取組のポイント

■有機農業への参入者の増加に向けた取組

担い手確保に力を入れており、各地の**新規就農募集セミナーへ出展**して有機農業での就農を希望する研修生を受け入れています。新規就農者の受け入れに関しては、師匠・集落・農地・施設・住居などの就農する上で必要となる要素を一体的に確保する市の「**就農・定住パッケージ**」を活用し、研修～就農後までサポートしています。



一言アピール！

農家と関係機関が一体となってがんばっています！！

小松島市生物多様性農業推進協議会（徳島県小松島市）

協議会の構成員

生産者、実需者、徳島県、小松島市ほか

生産概要（2018年度）

■取組面積

有機農業取組面積：36.35ha
うち有機JAS取得面積：0.96ha

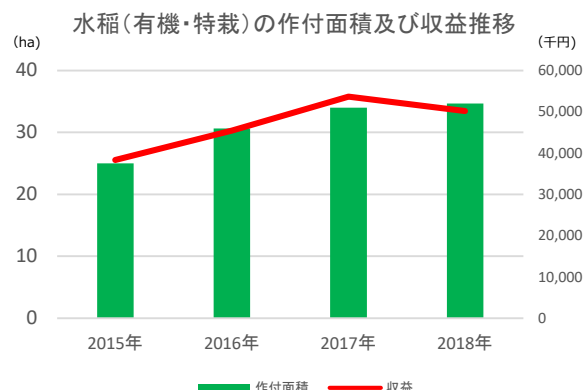
■有機農業者数：34名

■栽培品目：水稻、タケノコ等

■構成員の主な取引先：生協、スーパー、産直市等

成果（2015年→2018年）

- ・ 水稻（有機・特裁）取組者の増加
31名（2015年）→32名（2018年）
- ・ 水稻（有機・特裁）作付面積の拡大
25.00ha（2015年）→34.67ha（2018年）
- ・ 水稻（有機・特裁）売上額の増加
38,306千円（2015年）→50,168千円（2018年）



取組のポイント

■ 有機農業への参入者の増加に向けた取組

- ・ とくしま有機農業サポートセンターと共同した、**新規参入者向けの相談窓口の設置。**

■ 技術の確立・習得に向けた取組

- ・ **BLOF理論（生態系調和型農業理論）の講習会**を、2017年は6回、2018年は5回実施し、生産者の技術向上及び取組面積の増加につなげることができた。

■ 消費者の理解増進に向けた取組

- ・ **オーガニックエコフェスタ開催**による、技術者間交流と消費者へのPR活動を実施。
- ・ 協議会による認証米を、2017年は9回、2018年は8回**イベント等でPR**し、消費者の理解増進に努めた。



▲ 栽培技術講習会の様子



一言アピール！

本協議会では、生物多様性の視点を生産環境に取り入れる農業を志向しています。

問い合わせ先：中国四国農政局生産技術環境課
086-224-4511

南島原市有機農業推進協議会（長崎県南島原市）

協議会の構成員

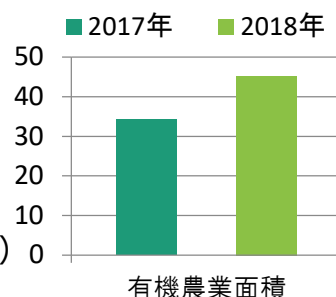
長崎有機農業研究会、（農）ながさき南部生産組合、（農）供給センター長崎、長崎県島原振興局農林水産部、生活協同組合ララコープ、南島原市農林課

生産概要（2018年）

- 取組面積
有機農業取組面積：45ha
うち有機JAS取得面積：11ha
- 栽培品目：ばれいしょ、たまねぎ等
- 有機農産物の生産量：1011トン
- 構成員の主な取引先：生協、宅配サービス
- 有機農業者数：57名

成果（2017年→2018年）

- ・有機農業の農業者数：46名（2017年）→57名（2018年）
- ・有機農業面積の拡大：34.3ha（2017年）→45.2ha（2018年）
- ・有機農業面積のうち、野菜面積の拡大：
22ha（2017年）→30.8ha（2018年）
- ・有機農産物の販売額：
20,130万円（2017年）→21,434万円（2018年）



取組のポイント（取組期間：2018年～）

■供給力強化の取組

- ・実証試験の実施、有機ほ場の土壌調査及び報告会による技術の確立
- ・栽培技術の習得及び技能向上を目的とした講習会の実施

■有機農業者育成力強化の取組

- ・有機農業先進地へ視察及び情報交換
- ・有機農業実践講座の開催による参入希望者及び慣行農業者に対する技術の普及
- ・セミナー、研修会への参加による有機農業に関する情報収集及び他地域との情報交換



一言アピール！

肥沃な大地で育てられた美味しい野菜をぜひご堪能ください！

問い合わせ先：
九州農政局生産部生産技術環境課
096-300-6272

くまもと有機農業推進協議会（熊本県）

協議会の構成員

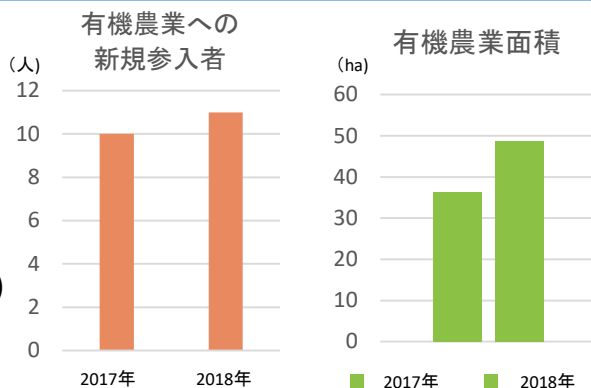
熊本県有機農業研究会 人吉有機農業推進協議会 宇城有機農業プロデュース 百草園
(株) ドリームグループ九州産直クラブ人吉市
アースデイマーケット 宇城市 熊本県 JA中央会

生産概要（2017年4月）

- 取組面積
有機農業取組面積：36.4ha
うち有機JAS取得面積：20ha
- 栽培品目：トマト、しょうが等
- 構成員の主な取引先：農協 生協 ドリームグループ
- 有機農業者数：33名

成果（2017年→2018年）

- ・ 有機農業への新規参入者の増加：
10名（2017年）→11名（2018年）
- ・ 有機農業面積の拡大：
36.4ha（2017年）→48.65ha（2018年）



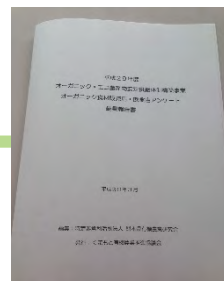
取組のポイント（取組期間：2016年～）

■ 有機農業への参入者の増加に向けた取組

- ・ 新規参入者の課題であった**有機農業の技術を追跡調査**してきた。それを4年間実施することで新規参入者が2名定着・増加。調査した**野菜やお米の栽培マニュアル**を作成し、新規参入者だけでなく、従来からの有機農業実践者の生産性の向上につなげた。

■ 流通・販売の拡大に向けた取組

- ・ 実需者のニーズを把握するため、2018年において、**レストランや販売店のオーガニックへの意識と実態調査**を実施した。



一言アピール！

熊本は有機農業の盛んな地域です。宇城organicプロデュースのトマトは美味しいですよ。

問い合わせ先：
九州農政局生産部生産技術環境課
096-300-6272



宮崎県有機農業連絡協議会（宮崎県）

協議会の構成員

宮崎県 綾町 高鍋町 宮崎県経済農業協同組合連合会
(一社) 宮崎県農業法人経営者協会 生産者

生産概要（2019年3月）

■取組面積

有機農業取組面積：20.85ha

うち有機JAS取得面積：13.55ha

■有機農業者数：5名

■栽培品目：柚子、とうがらし、茶等



柚子

とうがらし

茶

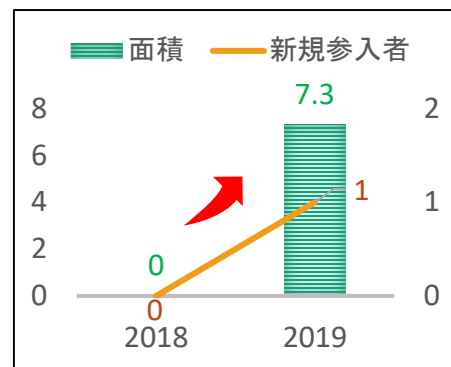
成果（2018年→2019年）

■有機農業の取組面積の増加（ゆず・とうがらし）

： 0 ha（2018年）→7.3ha（2019年）

■有機農業の取組農家数

： 4名（2018年）→5名（2019年）



取組のポイント（取組期間：2018年～）

- ・地域の生産者等を対象に有機JAS認証制度や有機栽培方法について計2回（1回目12月44名、2回目3月）**研修会を開催**
- ・転換者等2名を対象に、**有機栽培技術実証展示ほを設置**。
栽培指導を8月～3月の間実施中。品目：ゆず、とうがらし、茶
- ・県内農業者等800名以上を対象に有機JAS認証取得意向アンケートを実施し、有機JAS推進対象者の掘り起こしを図った。



一言アピール！

**宮崎県産の有機農産物を
よろしくお願いします。**

かごしま有機農業推進協議会 (鹿児島県鹿児島市・姶良市・南さつま市)

協議会の構成員

鹿児島市、姶良市、南さつま市、NPO法人鹿児島県有機農業協会、生活協同組合コープかごしま、(株)エム・オー・エー商事九州販売、(有)かごしま有機生産組合、あいら有機部会

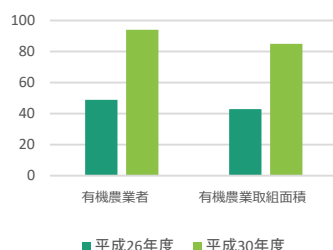
生産概要 (2019年3月)

- 取組面積
有機農業取組面積：85ha
うち有機JAS取得面積：62ha
- 有機農業者数：94名
- 栽培品目：水稻、玉ねぎ、おくら等
- 有機農産物の生産量：529トン
うち有機JAS認証農産物：339トン
- 構成員の主な取引先：260箇所
(生協、スーパー、小売店等)

成果 (2014年→2018年)

- ・有機農業の新規参入者の増加：45名 (2018年)
- ・有機農業面積の拡大：71.71ha (2017年) → 84.86ha (2018年)
うち有機JAS取得面積 41.20ha(2014年) → 62.12ha(2018年)
- ・有機農産物の取引先：152箇所 (2014年) → 260箇所 (2018年)
- ・有機農産物の生産量：485トン (2014年) → 529トン (2018年)
うち有機JAS認証農産物：302トン (2014年) → 339トン (2018年)

有機農業者・有機面積の拡大



取組のポイント (取組期間：2015年～)

■栽培技術・経営力向上等に向けた取組

- ・**有機農業チャレンジフォーラム** (「いかにして高品質で高利益な農産物を作るか」有機農業の土づくりから管理までの一貫指導の研修会 及び「有機農業フォーラム」)を**2回実施**し、新規参入者だけでなく、従来からの有機農業実践者の生産性・経営力の向上につなげた。

■流通・販売の拡大に向けた取組

- ・実需者のニーズを把握するため、東京・大阪において、**7月と10月に販売動向調査を実施**し、有機農産物の販売に結びついた。



一言アピール!

地球にやさしい、持続可能な有機農産物、有機加工品を現在全国各地の生協やスーパー等に提供しております。今後も有機農産物等を安定的に皆様にお届けできるよう努力いたしますので、応援ください。

問い合わせ先：
九州農政局生産部生産技術環境課
092-300-6272

